

# 『認知症集中治療のための短期入院』

## ご案内

### 私は認知症って言われて・・・

家族の者たちはおかしいというし、色々困ったことをして迷惑かけているらしくて・・・わたしもつらい！  
でも、どうしていいのかわからない・・・イライラしてくるし！  
入院してすこしでもよくなるなら・・・でも、あまり長く入院するのはいやだし・・・

### 私は認知症の家族をずっと介護してますけど・・・

介護で疲れきってたくた！  
今の状況が入院で少しでも良くなったら・・・でも、長い入院は認知症が進むっていわれるし・・・

認知症の方は一生懸命がんばっています。

介護なさっている方も一生懸命がんばっています。

でも、お互いに気をつかいあってイライラしたり、くたくたになったりすることはどうしても避けられません。

疲れがたまってくると、お互い、ついついつらくあたってしまうこともあります。

こういう時には認知症の症状が悪くなります。

認知症の方の介護は長い年月にわたります。

良い時もあれば、うまくいかない時もあります。

うまくいかない時は、できるだけ早く症状を良くして、本人を楽にしてあげると同時に、介護の負担を軽くしていくことがとても大切なことです。

そうすることで、少しでも良い介護が出来るようになります。

無理して頑張っているだけでも疲れはたまってきます。そして、疲れがたまると・・・悪循環になります。



そのような時のために、当院では

『認知症集中治療のための短期入院』を行っています。



# 当病院の「認知症集中治療のための短期入院」の特徴

## 1. 在宅生活を継続していけるように配慮しています。

入院期間は数日や1週間の入院から、場合によっては、3ヶ月以上の入院でも構いません。短期入院を繰り返しながら、出来るだけ在宅での生活を続けていくことが出来るようサポートしております。在宅サービス、施設利用、入院の3つを上手く組み合わせていくことが出来るよう相談に応じております。入院期間については、随時ご相談ください。



## 2. 定期的に短期入院を利用することも可能です。

患者さまが社会性を保ち続けるために、毎月1～2週間の短い期間の入院を行っていく形や、短期間での環境変化が望ましくない患者さまの場合などは、数ヶ月に一度1～3ヶ月の入院を行っていくという形での利用も可能です。患者さまの病状やご家族さまの事情によって、臨機応変に対応させていただいています。

## 3. 活動性や社会性を維持し、脳機能の低下を出来るだけ防ぐ努力を行っています。

当院では、患者さまの機能レベルで病棟を決めており、性格や趣味に合わせて各種セラピーの導入を行っております。当院では、ドールセラピーや園芸療法などのダイバーショナル・セラピーを行っており、出来るだけ脳の働きを活発にするよう努めています。

\*ダイバーショナル・セラピーとは・・・患者さまの興味や関心に合わせて様々なプログラムを実施し、「意味がある」「楽しい」と感じていただけることを提供することで脳の働きを活性化させようとするものです。

## 4. 退院後はもの忘れ外来への通院や、ホームドクターにお願いすることも可能です。

退院後の様々な問題に対しては、もの忘れ外来にて継続的に治療やアドバイスをさせていただきます。また、ご希望があれば、ホームドクターへ情報提供を行い、当院へ常時通院しなくても、継続して治療を受けていただけるようホームドクターと連携を取り、患者さまを治療していくことも可能です。

### まず、外来受診を！

入院前に、患者さまの病気の診断をさせていただき、症状の状態、介護の現状などをよく把握させていただくことが非常に大切だと考えております。

そのために、入院前には必ず、当院もの忘れ外来を受診していただいております。

まずは、もの忘れ外来の予約をお電話にてお取りください。

問い合わせ先

藍野病院 地域医療連携室 072-627-7611 (代表)

